

# むつ市公共交通再編計画(案)概要版

## 2026-2029(2026年度版)

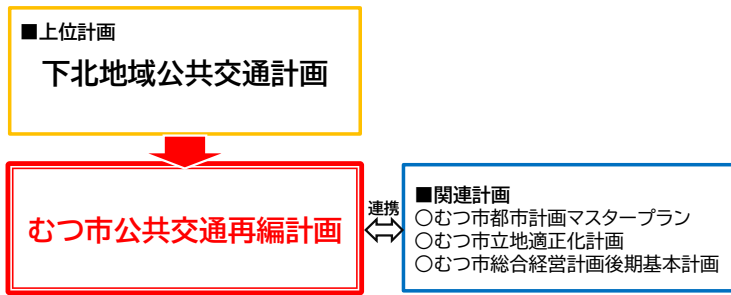


### 計画の目的

- 本市の公共交通を取り巻く環境は、人口減少や少子高齢化、モータリゼーションの進展による利用者の減少、交通事業者の運転手不足や高齢化等の影響による路線バスの減便や廃止、タクシー運行車両の不足等、年々、厳しさを増しています。
- 特に、むつ市中心部では、下北地域における広域路線バスの起終点として、全ての路線の乗り入れや主要施設への移動手段が提供されている一方で、中心部全体を見渡すと「交通空白地」が多く生じており、一部の居住エリアからは公共交通が利用しにくい状況にあります。
- また、2025年度からは全ての中学校の部活動が地域に移行し、2027年度からは大湊高等学校とむつ工業高等学校の統合校の開校予定に伴う通学需要の変化等、今後、市内の交通事情は大幅に変化していくことが予測されます。
- このような状況を踏まえ、市内の公共交通を取り巻く現況や課題を整理し、効果的かつ効率的な公共交通体系への見直しを図るとともに、移り変わる環境の変化に対応できる『持続性の高い公共交通ネットワーク』の構築に向けて、むつ市公共交通再編計画(以下「本計画」という。)を策定します。

### 計画の位置付け

- 本計画は、下北圏域を構成する5市町村(むつ市、大間町、東通村、風間浦村、佐井村)において、2025年3月に策定した「下北地域公共交通計画」に基づき、下北地域公共交通計画に記載されたむつ市における公共交通の課題や施策の方向性についての具体的なアクションプランとして策定します。



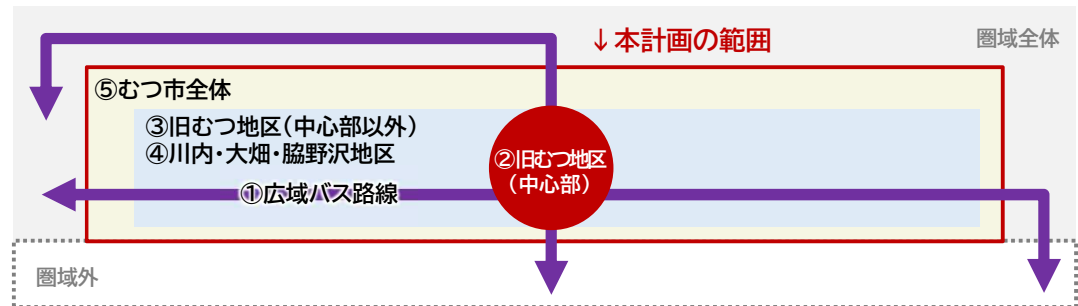
### 計画の期間

- 本計画の期間は、下北地域公共交通計画の計画期間を踏まえ、2026年度から2029年度までの4か年とします。
- また、毎年度、公共交通再編の進捗状況等を踏まえて、本計画を更新します。

計画名	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	2032年度	2033年度	2034年度	
下北地域公共交通計画	計画策定	→				次期計画検討	→				
むつ市公共交通再編計画(本計画)		計画策定	更新	更新	更新	→					

### 計画の方針

- 下北地域公共交通計画では、以下に示す4つの基本方針を位置付けており、本計画においてもこれらの方針の実現に向けた本市の公共交通再編を進めるものとします。
- また、取組の際は「①広域バス路線」「②旧むつ地区(中心部)」「③旧むつ地区(中心部以外)」「④川内・大畑・脇野沢地区」「⑤むつ市全体」の各視点に基づいた再編を行います。



### 公共交通再編の基本的な考え方

- 本計画における公共交通再編の基本的な考え方の一覧を下表に示す。

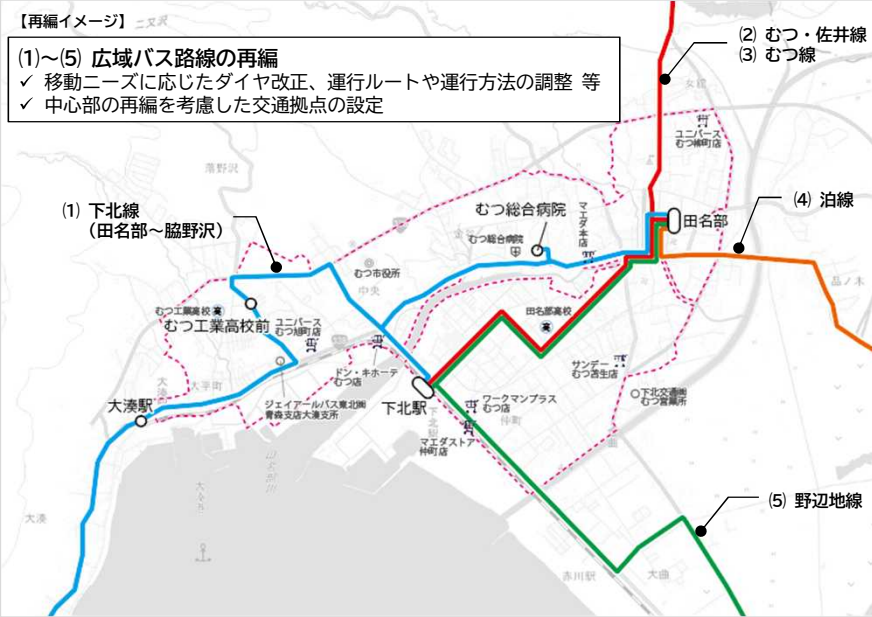
No.	区分	現状・課題	再編方針
1	広域バス路線	・路線利用者の減少	・下北線(田名部~脇野沢)の再編 ・むつ・佐井線(むつ~佐井車庫)の再編 ・むつ線(大畑駅~むつ)の再編 ・泊線(むつ~泊車庫)の再編 ・野辺地線(むつ~野辺地駅)の再編
2	旧むつ地区(中心部)	・新たな交通拠点の設定及び交通ネットワークの形成 ・バス路線ではカバーできない交通空白地への対応	・下北駅を中心とした交通ネットワークの形成 ・新たな移動サービスの検討
3	旧むつ地区(中心部以外)	・公共交通による住民の移動手段が限られる	・広域バス路線の再編 ・新たな移動サービスの検討
4	川内地区	・公共交通による住民の移動手段が限られる	・新たな移動サービスの検討
5	大畑地区	・公共交通による住民の移動手段が限られる	・新たな移動サービスの検討
6	脇野沢地区	・公共交通による住民の移動手段が限られる	・新たな移動サービスの検討
7	むつ市全体	・交通施策に係る市の財政負担額の増加 ・交通事業者の運転手不足	・移動需要を公共交通に集約化 ・交通事業者の運転手不足解消に向けた支援 ・交通DXの活用(MaaS)

# 公共交通再編事業の内容

## (1)～(5)【広域バス路線】広域バス路線の再編

### ■対象路線（系統）

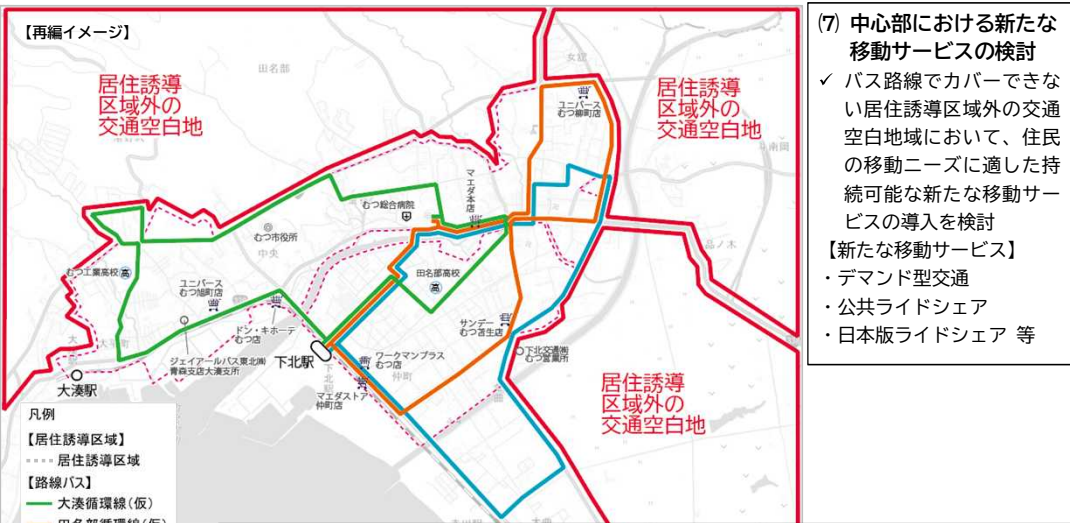
(1) 下北線（田名部～脇野沢）、(2) むつ・佐井線、(3) むつ線、(4) 泊線、(5) 野辺地線



## (6)～(7)【中心部】下北駅中心の交通ネットワークの形成及び新たな移動サービスの検討

### ■対象路線（系統）

下北線(田名部～宇曾利川 等)、市内線①②③、むつ病院循環線、むつ病院・中央クリニック循環線、むつループライン(muve) 等

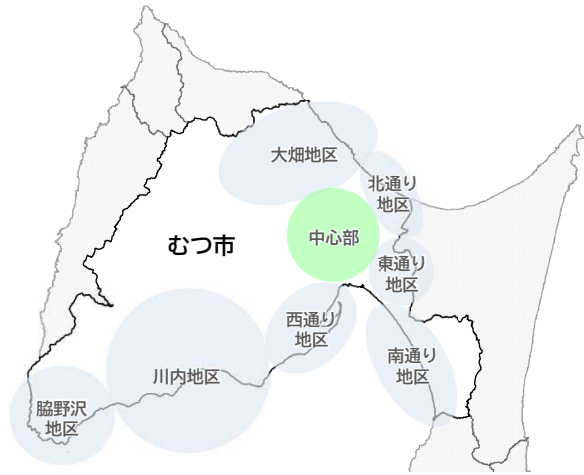


**(6) 中心部における下北駅を中心とした交通ネットワークの形成**  
 ✓ 中心部における回遊性の向上を図るため、バス事業者と連携し、既存のバス路線・系統を再編  
 ✓ 下北駅を中心に各拠点間を繋ぐ複数の循環バス路線の構築を検討・実施

## (8)～(11)【中心部以外の地区】新たな移動サービスの検討

### ■対象地区

(8) 旧むつ（中心部以外）・・・東通り地区、西通り地区、南通り地区、北通り地区  
 (9) 川内地区  
 (10) 大畑地区  
 (11) 脇野沢地区



✓ 中心部以外の地区において、既存の公共交通の維持・改善しつつ、地区内を運行する交通事業者と連携し、地区住民の移動ニーズに適した持続可能な新たな移動サービスの導入を検討

**【既存の公共交通】**  
 下北線、むつ・佐井線、むつ線、泊線、野辺地線、むつ市コミュニティタクシー(川内湯野川線)、大畑～奥薬研地区デマンド型乗合タクシー、九艘泊線、源藤城線

**【新たな移動サービス】**  
 ・デマンド型交通  
 ・公共ライドシェア  
 ・日本版ライドシェア 等

## (12)～(14)【むつ市全体】移動需要の集約化、運転手不足解消、交通DXの活用

### (12) 移動需要を公共交通に集約化

✓ スクールバスやむつ☆かつクラブバスの運行時間や運行ルートを考慮した路線の再編をすることで、通学等の移動需要を公共交通に集約化  
 ✓ また、公共交通の需要規模に応じた運行形態の最適化(ダウンサイジング)を検討



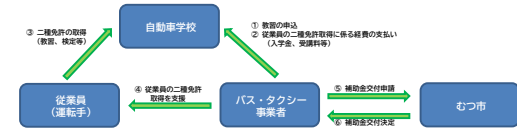
### (13) 交通事業者の運転手不足解消

✓ 持続性の高い公共交通ネットワークの形成を図るため、市内に路線又は営業区域があるバス事業者及びタクシー事業者の運転手確保を支援

#### 【2026年度事業】

- ① 二種免許取得支援事業
- ② 採用活動推進事業

#### ■二種免許取得支援事業



#### ■採用活動推進事業



### (14) 交通DXの活用(MaaS)

✓ 持続性の高い公共交通ネットワークの形成に向けて、公共交通や多様な移動手段を最適に組み合わせ、一人ひとりの移動ニーズに対応できる本市の交通事情に即したMaaSを構築

✓ また、運転手不足による公共交通サービスの低下を解消し、公共交通の維持・確保を図るため、自動運転サービスについて研究

